



島根県水産技術センター

令和7年5月2日発行

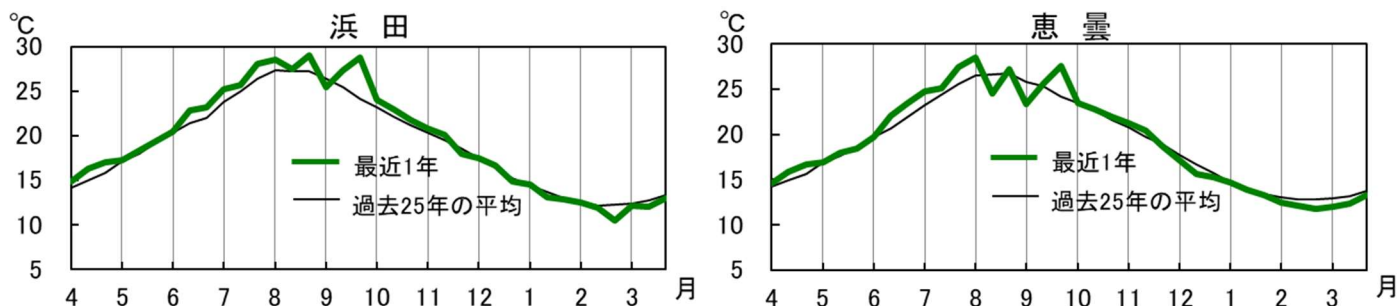
トビウオ通信 漁況速報 (4月号)

(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

<https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

《3月の海況》



3月	浜田			恵曇		
	評価	平均	平年差	評価	平均	平年差
上旬	平年並み	12.4℃	-0.4℃	かなり低め	12.6℃	-0.7℃
中旬	やや低め			やや低め		
下旬	平年並み			やや低め		



《3月の漁況》

【中型まき網漁業】

浜田地区ではマイワシ主体の漁況でした。魚種別の漁獲量の動向は、マイワシは平年の3.3倍、マアジの漁獲はありませんでした。隠岐地区ではマイワシ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は125トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、マイワシは8,225トンで平年の8割、サバ類は104トンで平年の3割、マアジの漁獲はありませんでした。

【イカ釣り漁業】

浜田地区（属地5トン以上）での漁獲はありませんでした。西郷地区（属人5トン以上）ではスルメイカがわずかに漁獲されました（3月の操業船は1隻のみであったため、漁獲量は非公開）。

【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではカワハギ類（ウマヅラハギ）、マダイ、キダイを主体に、1統1航海当りの漁獲量は12.1トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、カワハギ類（ウマヅラハギ）は平年の4.3倍、マダイは平年の1.6倍、キダイは平年の5割でした。その他、スズキは平年の6.1倍と好調でしたが、アナゴ・ハモ類は平年の8割、スルメイカ、アカムツおよびエソ類は平年の6割、ケンサキイカおよびマフグは平年の5割の水揚げでした。

【小型底びき網漁業】

大田地区（和江・久手）ではソウハチ、アカガレイ、アンコウ類主体の漁況で、総漁獲量は177トンでした。1統1航海当りの漁獲量は915kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、ソウハチは平年の6割、アカガレイは平年の5割、アンコウは平年の7割でした。その他、マフグは平年の3.4倍と好調でしたが、ヒラメは平年の1.0倍、ニギスおよびヤナギムシガレイは平年の8割、キダイは平年の5割、アナゴ・ハモ類およびヒレグロは平年の4割でした。

【定置網漁業】

出雲地区ではマイワシ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は34.2トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、マイワシが平年の2.0倍でした。石見地区もマイワシ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は23.1トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、マイワシが平年の3.5倍でした。隠岐地区ではスルメイカ、マイワシ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は27.9トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、スルメイカは平年の4.2倍、マイワシは平年の2.6倍でした。

【釣り・縄】

出雲地区ではヒラマサ、ブリ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は20.6kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ヒラマサは平年の7割、ブリは平年の1割でした。石見地区でもヒラマサ、ブリ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は27.2kgと平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、ヒラマサは平年の1.2倍、ブリは平年の8割でした。隠岐地区ではブリ、カサゴ・メバル類主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は28.6kgで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の7割、カサゴ・メバル類も平年の7割でした。

【令和 7 年 3 月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1 隻(統)1 航海当り漁獲量)		
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %
中型まき網	浜田	—	—	—	—	—	—	—
	隠岐	マイワシ	8,357 トン	154%	77%	125 トン	129%	115%
イカ釣り (5トン以上)	浜田	—	—	—	—	—	—	—
	西郷	スルメイカ	—	—	—	—	—	—
沖合 底びき網	浜田	カワハギ類(ウマヅラハギ)、マダイ、 キダイ	289 トン	135%	102%	12.1 トン	107%	86%
小型 底びき網	大田	ソウハチ、アカガレイ、アンコウ類	177 トン	122%	58%	915 kg	163%	108%
定置網 (大型)	出雲	マイワシ	410 トン	117%	160%	34.2 トン	97%	142%
	石見	マイワシ	69.3 トン	99%	220%	23.1 トン	99%	220%
	隠岐	スルメイカ、マイワシ	55.9 トン	160%	217%	27.9 トン	160%	235%
釣り・縄	出雲	ヒラマサ、ブリ	12.7 トン	55%	32%	20.6 kg	62%	55%
	石見	ヒラマサ、ブリ	14.7 トン	129%	62%	27.2 kg	120%	109%
	隠岐	ブリ、カサゴ・メバル類	13.8 トン	125%	71%	28.6kg	126%	112%

※ 平年比：過去 5 年（沖底のみ 10 年）の平均値との比較

※ 大型定置網漁業の CPUE は 1 経営体当り漁獲量を示す。

※ 水温の評価「はなはだ〇〇」：約 20 年に 1 回の出現確率である±2℃程度の高さ

「かなり〇〇」：約 10 年に 1 回の出現確率である±1.5℃程度の高さ

「やや〇〇」：約 4 年に 1 回の出現確率である±1℃程度の高さ

「平年並み」：約 2 年に 1 回の出現確率である±0.5℃程度の高さ